



海南保育所（令和2年10月3日）



海陽町議会だより

9月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **58** (2020.11)

おもな
内容

決算認定	2～4P
特集記事	6・7P
行政報告	13P
一般質問	15～17P

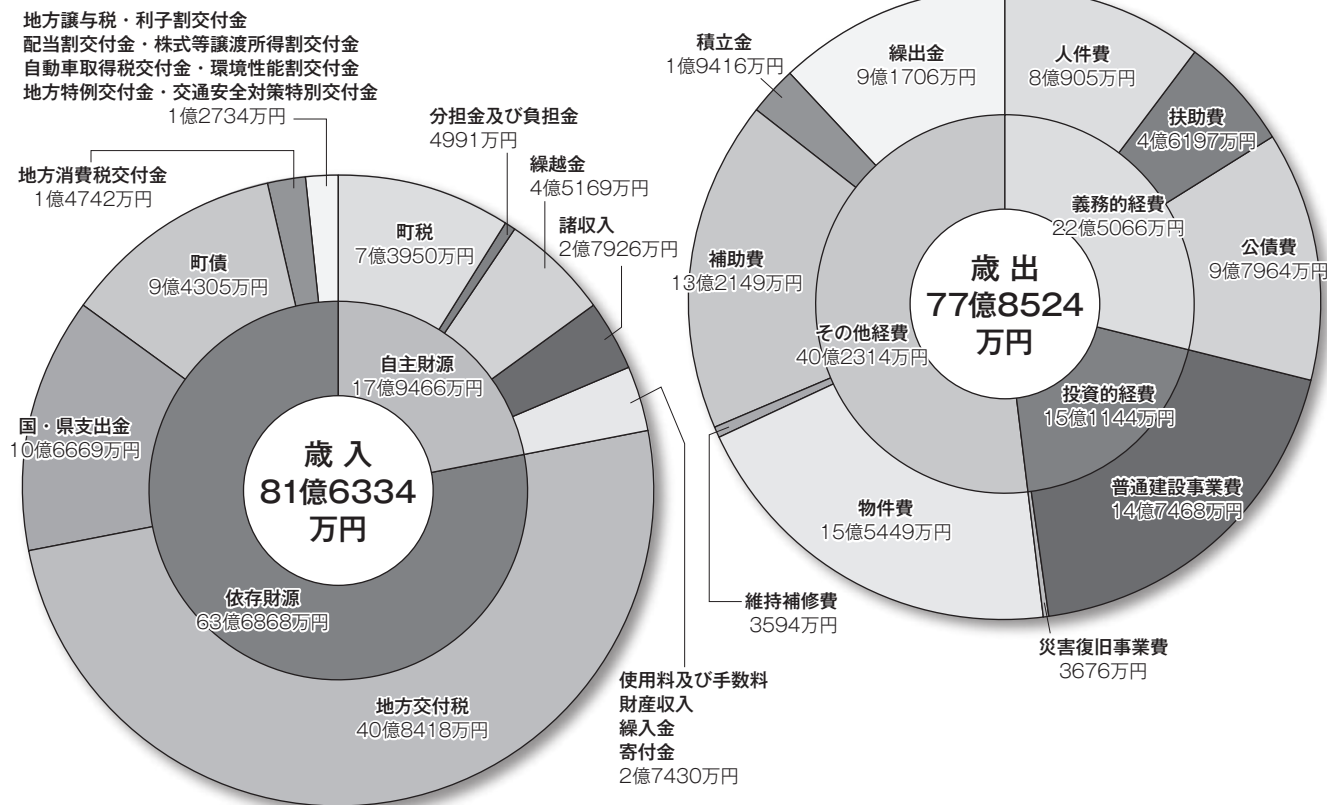
令和元年度

決算認定

さらに効率的な
財政運営へ

令和元年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定の議案が提出され、私たちが納めた税金や、国・県からの補助金がどのように使われたかを慎重に審査した結果、すべて原案のとおり認定しました。

令和元年度一般会計 歳入・歳出決算の内訳



目的別 歳出

歳出総額



77億8524万円

議会費

議会の運営など。

6652万円
(0.85%)

総務費

役場の管理運営・
財産管理・地域振
興対策など。11億5273万円
(14.81%)

民生費

社会福祉や生活扶
助など。16億9531万円
(21.78%)

衛生費

保健衛生、ごみの清
掃、し尿処理など。7億2116万円
(9.26%)

農林水産業費

農業・林業・水産
業の振興など。5億7919万円
(7.44%)

商工費

商業・工業の振興
など。2億63万円
(2.58%)

土木費

道路・橋の建設、
維持管理など。9億6736万円
(12.43%)

消防費

消防・水防・防災
対策など。4億6201万円
(5.93%)

教育費

教育・文化・スポー
ツ施設の充実など。7億2953万円
(9.37%)

災害復旧費

インフラ、ライフラインなどの復旧。

3676万円
(0.47%)

公債費

償還（借金返済）
など。9億7988万円
(12.59%)

諸支出金

寄付金、基金積み
立てなど。1億9416万円
(2.49%)

(※金額はすべて千円以下を四捨五入しています。)

決

算

認

定

78億円はどう使われたのか

小・中学校エアコン整備事業に1億5821万円など

監査意見

当

年度の歳入総額は、
81億6334万円で

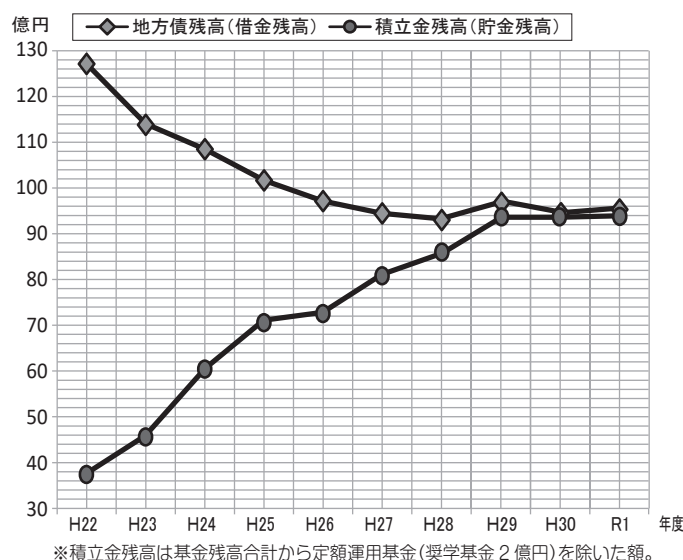
前年度と比べて3億8330万円の増加となっており、科目別に見ると増加したのは「繰越金」・「諸収入」・「町債」等、減少したのは、「県支出金」・「寄附金」・「使用料及び手数料」等である。

地方交付税の合併算定替えが令和2年度に最終年を迎えるにあたり、財政調整基金への積立額も大幅に減少してきている。大型事業の地方債償還による実質公債費比率の増も見込まれる中、新型コロナウイルスの終焉を見通すことは不可能であり、海南病院、(株)漁火、まぜのおか、海南荘など懸案事業も山積している。現在では健全な財政状況であるが、今後は急激な悪化も予測されるため、危機感を持って一層の財政基盤強化に取り組まれている。

基金残高一覧表

普通会計	財政調整基金	36億4012万円
	減債基金	18億5223万円
	特定施設振興調整基金	4億 11万円
	鉄道経営安定基金	1億7845万円
	地域福祉基金	2億7396万円
	子どもあゆみ基金	8億5868万円
	千年のいのちを守るまちづくり基金	13億5885万円
	その他基金(普通会計)	2億4728万円
特別会計	国民健康保険財政調整基金	1億7646万円
	国民健康保険中央診療所財政調整基金	2億 43万円
	その他基金(特別会計)	1億8494万円
定額運用基金	奨学金基金	2億円
合	計	95億7151万円

町の借金と貯金の推移



会計別決算状況

(単位: 万円)

会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	81億6334	77億8524	3億7810
国民健康保険特別会計	14億7090	14億5067	2023
後期高齢者医療特別会計	1億8442	1億8074	368
介護保険特別会計	15億8476	15億6872	1604
浅川公共下水道事業特別会計	5290	4864	426
海部公共下水道事業特別会計	7906	7084	822
穴喰公共下水道事業特別会計	2億 454	2億 148	306
神野農業集落排水事業特別会計	2806	2470	336
川西農業集落排水事業特別会計	2898	2331	567
日比原農業集落排水事業特別会計	1220	876	344
漁業集落排水事業特別会計	1500	1256	244
川西簡易水道事業特別会計	7141	5908	1233
海部簡易水道事業特別会計	6420	5550	870
中里簡易水道事業特別会計	224	214	10
川上簡易水道事業特別会計	2884	2338	546
鉄道経営安定基金特別会計	8382	8382	0
穴喰診療所事業会計	1億 830	7907	2923

奨学金基金とは

向学心に富む生徒・学生で経済的理由により修学が困難な者に奨学金を貸与し、将来地域の発展に有為な人材の育成を図る。

基金額2億円で運用されている。



順調だが：簡易水道と 統合され財政の健全化が必要！

危機的状況にあり 改革検討委員会に期待！

令和元年度上水道事業会計

事業収益	1億 1 8 3 2万円	(△478万円 対前年)
事業費用	1億 1 0 6 5万円	(+373万円 対前年)
純利益	7 6 7万円	

事業収益 1億 1 8 3 2万円 (△478万円 対前年)
事業費用 1億 1 0 6 5万円 (+373万円 対前年)
純利益 7 6 7万円

望む。
健全に行わ
れることを
かつ公平・
運営が適正
水道事業
の健全化が
求められる。
が、今後さ
決算となる
会計による
統合された
次年度より



耐震水道管への交換工事 (大里字白水)

事 業は順調に推移しているが、昨年度と比較し給
水収益が302万円の減少となっている。この
要因は、人口減少とともに節水機器の普及によるものと
思われる。
防災面から見ると、南海トラフ巨大地震等に備えた水
道管の耐震化などさらなる施策が必要であり、地震・津
波対策を計画的に講じることが課題となっている。
令和2年4月に、簡易水道事業との統合が実施され、

令和元年度海南病院事業会計

事業収益	5億 1 7 6 8万円	(+4983万円 対前年)
事業費用	5億 7 7 2 0万円	(+5133万円 対前年)
純損失	5 9 5 3万円	

最終結論も近日に出
されるところである。
新院長を始め新し
い人員体制の下で職
員の意識改革がなさ
れ、現在の新型コロナ
ナが全国的な感染拡
大を続ける中、公立
医療機関の役割・使
命を改めて意識し、
住民に信頼され、必
要とされる病院とな
るよう改めて期待す
る。



第5回海南病院改革検討委員会の様子

一 般会計からの繰入金が2億8500万円あるが、
赤字額は過去2番目に悪化しており危機的状況
である。
経営改善の一環として、平成28年度に地域包括ケア病
床の導入を行ったが、入院患者数、外来患者数とも減少
に歯止めが掛かっていない。
昨年、国から経営のあり方を検討すべき病院として公表
されたことにより「海南病院改革検討委員会」が設置され、

第3回定例会

議案の審議

令和2年第3回定例会は、9月7日開会、町長より16議案および委員会より意見書が提出され、原案どおり可決し、9月10日に閉会した。

条例関係

- ・職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

予算関係

- ・一般会計補正予算(第4号) 5296万円↑
- ・国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 2億3742万円↑
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 145万円↓
- ・介護保険特別会計補正予算(第2号) 315万円↓
- ・宍喰公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 477万円↓
- ・水道事業会計補正予算(第2号) 7000万円↑
- ・海南病院事業会計補正予算(第3号) 125万円↑
- ・一般会計補正予算(第5号) 660万円↓
- ・海南病院事業会計補正予算(第4号)

要望・意見書

- ・風力発電計画反対 要望書

……12ページ参照

「委員会提案の意見書」

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書 ……12ページ参照

認定・承認

- ・決算の認定について
- ・和解について
- ・人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者



吉田字西沢
田村 航也

候補者の推薦を適任と認めました。
※ 任期は1月1日から3年間

第4回臨時会

議案の審議

第4回臨時会は、7月9日開会、次の議案等が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

契約関係

- ・町立小学校タブレット端末等購入契約について
契約金額 1870万円
- ・納期 令和2年7月10日～令和3年3月31日
- ・町立中学校タブレット端末等購入契約について
契約金額 1606万円
- ・納期 令和2年7月10日～令和3年3月31日
- ・契約相手 (株)ニューメディア徳島

報告関係

- ・専決処分報告について
- ・交通事故の和解及び損害賠償の額を定めることについて

9月補正予算後の 歳入歳出予算

歳入	9月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億4508万円	7.5
地方譲与税	0	1億2770万円	1.5
利子割交付金	0	40万円	0.0
配当割交付金	0	370万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	0	210万円	0.0
法人事業税交付金	0	260万円	0.0
地方消費税交付金	0	1億4660万円	1.7
環境性能割交付金	0	430万円	0.1
地方特例交付金	0	90万円	0.0
地方交付税	4035万7千円	36億1345万8千円	42.0
交通安全対策特別交付金	0	70万円	0.0
分担金・負担金	0	6466万7千円	0.8
使用料・手数料	0	6227万7千円	0.7
国庫支出金	1億5796万5千円	14億4148万2千円	16.8
県支出金	3780万円	6億59万3千円	7.0
財産収入	0	4479万5千円	0.5
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	2753万4千円	10億2657万6千円	11.9
繰越金	0	8119万9千円	1.0
諸収入	3081万9千円	1億4306万円	1.7
町債	1億4080万4千円	5億8390万4千円	6.8
合計	4億3527万9千円	85億9679万1千円	100.0

歳出	9月補正	補正後	構成比率
議会費	0	7058万1千円	0.8
総務費	1746万4千円	19億1291万9千円	22.2
民生費	2923万8千円	17億6135万7千円	20.5
衛生費	1177万9千円	7億4377万7千円	8.7
農林水産業費	8046万1千円	6億8304万4千円	7.9
商工費	4743万1千円	4億7524万5千円	5.5
土木費	8051万7千円	7億6566万円	8.9
消防費	714万円	4億7597万8千円	5.5
教育費	1億724万9千円	7億9777万8千円	9.3
災害復旧費	5400万円	9160万円	1.1
公債費	0	7億8959万6千円	9.2
諸支出金	0	1519万8千円	0.2
予備費	0	1405万8千円	0.2
合計	4億3527万9千円	85億9679万1千円	100.0

ルス感染症対策

独自) をご紹介します！



特集.. コロナ対策事業

住民生活の支援

敬老会記念クーポン事業

敬

老会の中止に伴う事業として、77歳以上の方に商品券（3千円）を贈呈。

734万円

高齢者応援事業

○買物サポート支援事業

600万円

買

物支援や弁当宅配を行う事業所（商店）に月額2万円を補助します。

○外出応援事業補助金

450万円

バ

ス・タクシーなどの料金補助を、月に1千円から2千円に増額します。

特産たくさんふるさと便事業

大

学生などに地元特産品を発送し、生活の応援をします。

264万円

地域経済を守る

マイナンバーカード取得促進関連事業

○プレミアムマイナポイント事業 1000万円

国

が実施する事業の上に、町内各店舗で利用すると、町独自のポイント（2千円分）を付与します。

国・県と合わせ、1万円分のポイントになります。

○マイナンバーカード取得促進事業 380万円

カ

ード取得者に商品券を配布します。（1千円×先着3千人）

新型コロナウイルス

町民皆様への応援事業（町

オンラインマラソン大会開催

2155万円

海 部川風流マラソンは中止となりましたが、アプリを活用したりモートマラソン大会を開催します。参加賞などには、地元特産品を活用します。（2300人の参加を予定）



参加賞などに町産のイセエビや農作物を活用します

ドライブインシアター事業

90万円

海 南文化村駐車場を会場として、新型コロナウイルスを気にせず車内で鑑賞できる、屋外映画上映会を開催します。

公共料金の納付促進事業

〇口座引落促進キャンペーンの実施 **24万円**

窓 口座納付での気遣いがいらない、口座振替の促進をします。新規申込者にエコバッグを贈呈します。

〇コンビニ等収納サービスの導入 **306万円**

コ ンビニやスマホでの納付が可能になります。令和3年4月に運用開始予定です。

新しい生活様式

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長 橋本 朗

9月8日開会。
所管する議案等について説明を受けた。

決算認定

○ 令和元年度決算の状況、健全化判断比率、公営企業の資金不足比率とも健全な水準。

委員の問 さゆうりタウンの事業費変動はなぜ。

答 平成30年度は、ハウスを9棟建設。令和元年度は、ミスト設備の整備のため、差引の減額が大きくなっている。

委員の問 上水道事業の給水件数、収益が減り、財政的に厳しくなるが、今後の対応について。

○ 一般会計補正予算(第4・5号)

予算関係

○ 一般会計補正予算(第4・5号)

歳入歳出それぞれ4億3528万円を追加し、総額をそれぞれ85億9679万円とする。

総務費

・電子計算費

「283万円」

職員のテレワーク用ノートパソコン8台とウェブ会議用機材の購入。

委員の問

テレワークの実績は。

答 今までに4名の職員が、各種マニュアル作成や実績報告書作成の業務を行った。

・観光施設管理補助金

「2269万円」

遊遊NASA・リビエラ・道の駅のサーマルカメラ、高座卓、アクリルパーテーション、空気清浄機等の購入補助金。

委員の問

購入備品については、漁火の備品になるのか。

答 漁火の備品となり、町行事等で必要ときは、借入できるようにしたい。

土木費

・土木工事請負費

「3000万円」

八山残土処分場仮設進

入路整備工事。

・公園工事請負費

「3600万円」

宗喰地区地域防災公園の工事用仮設道路整備工事。

・住宅補償費 「45万円」

町の事情による団地から団地への、3世帯分の引越補償。

今後の町営住宅の方針について、管理戸数163戸、現人居世帯は138戸、廃止予定が6棟、建替予定が1棟。廃止予定

住宅から空き住宅への転居を斡旋していく。

委員の意見 住み替えの斡旋については、公募によらない入居であり、慎重に行うように。

消防費

・災害対策費

「594万円」

避難所運営者用フェリスシート250個、防護服250着、簡易ベット150個、パーテーション100個の購入。

○ 水道事業会計補正予

移設工事 「130万円」

算(第2号)

・コンビニ収納サービス導入委託料「143万円」

来年度からの導入を予定。

委員の問

コンビニ収納サービスの委託料は今回のみの予算なのか。

答 来年度以降の費用は、利用件数に応じた手数料等が必要。

・資本的支出に吉田地区配水管布設替工事

「308万円」

・靱浦地区上水道配水管移設工事 「130万円」

その他

○ 地方創生会議における事業検証の報告。

令和元年度総合戦略各事業の進捗状況の説明があり、令和2年度よりは、新たな総合戦略がスタートし、目標達成に向け取り組みしていくとのこと。

コロナウィルス関連事業は、6・7ページに、その他主な事業は、左のページに特集しています。



避難所用パーティションと段ボールベッドのイメージ

おいしいお米を消費者に 農山漁村未来創造事業 補助金

3228万円



更新されるライスセンターの乾燥機

か いふ農協下灘ライスセンターは、町内の水稻農家の約20%の面積を受託しており、平成14年度に導入した乾燥機8機の更新をします。(内訳は、県2000万円、町1228万円)

観光にも コロナ対策

マリンジャム 施設 改修事業

1800万円

新 型コロナウイルス感染症対策として、自動ドア新設及び空調設備の改修と海中観光船ブルーマリンの夜間航行用照明器具の購入。

町道の安全確保に 道路災害復旧事業 **5000万円**



崩れた土砂と倒木にふさがれた北岸線

7 月の梅雨
前線豪雨
により山腹崩壊
した町道北岸線
(大井)の復旧
事業です。
復旧延長
L 34 m
法面対策工
H 30 m

南部地域原木流通 緊急支援事業負担金

2090万円

新 型コロナの影響により木材販売が低迷し、山土場において滞留原木が発生している。その原木を一時買い取り流通を確保することで、林業者の事業支援をします。

林業流通支援のため



突喰土場の原木の状況

文教厚生常任委員会

委員長 叶岡 徹

9月7日開会。所管する議案等について説明を受けた。

決算認定

○ 令和元年度の決算認定について、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、海南病院事業会計の報告を受けた。

国民健康保険特別会計は、加入世帯数1662世帯、被保険者数2571人。後期高齢者医療の被保険者数は2360人。海南病院事業特別会計は、入院、外来とも患者数は増加しているが、他会計繰入金が2億8500万円と対前年比3380万円の増加。主な増加理由は、常勤医師の増、医療機器購入による企業償還金の増。

委員の問 キャッシュフローを見ると、現金が減少しているが、運営資金は回っているのか。

答 当初予算の繰入金で対応できる。

委員の問 監査委員から厳しい指摘もあり、人件費比率も高いようだが。

答 入院患者をどう増やしていくかが今後の課題。職員の意識改革を行っている。

委員の問 改革検討委員会の意見を受け、早く結論を出し前へ進んでほしい。

答 基本的に収入を上げることと、どれだけ住民の満足度を上げられるかである。

条例関係

○ 海陽町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
新型コロナウイルスの作業に従

事した手当を、国の規定にならない改正する。

○ 海陽町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルスの影響による国民健康保険税の減免を2月1日にさかのぼって適用できるように改正する。

○ 海陽町手数料徴収条例の一部を改正する条例
マイナンバーカード通知カードの再交付事務が廃止されたことにより再発行手数料の条文を削除する。

予算関係

○ 一般会計補正予算(第4・5号)

民生費

・ 備品購入費

「199万円」

福祉避難所への備蓄品

購入費。

・ 需用費 「500万円」

福祉施設へのマスク等の購入。

・ 介護ロボット購入補助

金 「261万円」

町内3福祉施設に、介護ロボット等導入補助金。

委員の問 介護ロボットとはどういうものか。

答 ロボットとあるが移動式リフト等接触をできるだけ少なくし、介護職員の負担を軽減するもの。

教育費

・ 特産たくさんふるさと便事業 「264万円」

県外在住学生への生活

応援事業

委員の問 生活応援は県外だけでなく県内学生も対象にしてはどうか。

答 他の自治体でも申請が少ない例もあるため、今後検討したい。

・ 小学校工事請負費

「350万円」
宗喰小学校トイレ改修

工事。

・ 中学校工事請負費

「3450万円」
海陽中トイレと宗喰中防火戸の改修工事。

・ ドライブインシアター委託業務 「90万円」
屋外映画上映会委託料。

委員の問 雨天時の対応はどうするのか。

答 翌週に順延など臨機応変に対応する。

・ 海南文化村改修工事 「1900万円」

文化村活性化による第2駐車場舗装工事等。

○ 特別会計補正予算

・ 宗喰診療所

「156万円」

発熱外来用のプレハブ

設置工事等

委員の問 プレハブの設置場所は。

答 西側の自転車置き場の奥に設置する。

コロナウイルス関連事業は、6・7ページに、その他主な事業は、左のページに特集しています。



大学生などに送る「特産たくさんふるさと便」

新型コロナと インフルエンザに備えて 医療機関感染症対策事業

○海南病院 **222**万円

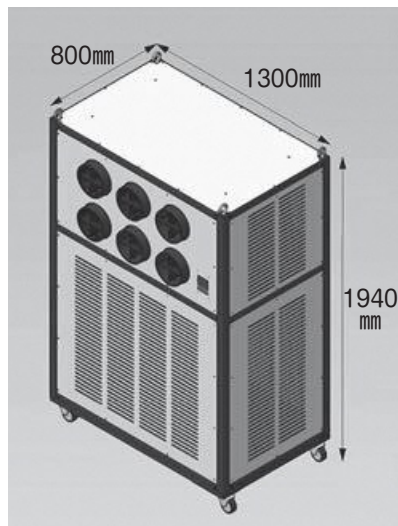
サーマルカメラ、検温モニタリングシステム、オンライン診療用備品を購入します。

○穴喰診療所 **396**万円

発熱外来用プレハブ設置、待合室改修、感染症対策備品の購入をします。



病院入り口の検温モニタリングシステム



移動式エアコンのイメージ図

小中学校体育館 移動式エアコン 整備事業

1800万円

体育館使用時の熱中症対策等のため、各小中学校体育館に2台ずつ移動式エアコンを整備するものです。また、災害時の避難所開設の際にも活用が期待されます。

教育環境・災害対応にも活躍します

高齢者福祉施設の 感染症対策事業

○町内介護施設補助金

移動式リフト、車いす両用 **261**万円
ベッド、徘徊センサーマットの購入補助をします。

○海南荘負担金 **160**万円

高温洗濯脱水機、回転式乾燥機、サポートスーツの購入負担金です。

安全な介護のために



施設に導入される介護ロボット的一种（車いす両用ベッド）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（要旨抜粋）

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続く中で、地方税・地方交付税等の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育、防災、地方創生、地域経済活性化など喫緊の財政需要への対応をはじめ、感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、「地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実」「地方交付税の総額を確保」「税収が安定的な地方税体系の構築」などを確実に実現されるよう、強く要望する。

審議の結果、全会一致で可決し、衆・参議院議長、内閣総理大臣等に提出しました。

風力発電計画反対 要望書（要旨抜粋）

今回那賀、海陽町で、計画されている大規模風力発電計画については、海部川源流周辺の林道崩壊、山腹崩壊が進んでおり、反対する。

工事により、山腹崩壊と大量の土砂流入が考えられ、危機管理からも計画反対は当然である。

現地視察をお願いする。

「川と友だち」世話人 成田 愛治
（以上857名の署名を添え要望）

議会としては、8月4日に現地周辺の視察を行いました。



現地周辺を林道から確認

議会のついで

7月1日から
9月30日まで

7月

- 1日 議会広報編集特別委員会
- 2日 議会運営委員会
- 7日 県南部県民局に松本排水機場の要望活動
- 13日 議会全員協議会
- 第4回臨時会

8月

- 10日 議会広報編集特別委員会
- 31日 県町村議定会定例会並びに研修会（徳島市）
- 4日 風力発電計画予定地の現地視察
- 6日 海部郡議定会総会（牟岐町）
- 31日 議会運営委員会
- 議会全員協議会

9月

- 7日 第3回定例会（1日目）
- 文教厚生常任委員会
- 議会運営委員会
- 総務産業建設常任委員会
- 第3回定例会（2日目）
- 10日 議会広報編集特別委員会
- 11日 議会広報編集特別委員会
- 17日 海部・安芸郡議定会協議（北川村）
- 25日 議会全員協議会

第3回定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、傍聴者の方に検温をお願いするとともに、傍聴席の間隔を空け、17席から10席とさせていただきます。ご協力に感謝いたします。

ピンチは成長できるチャンス

町長 三浦 茂貴

徳島県でもコロナが広がってきている。8月30日現在で県内のPCR検査実質人数は5778人、そのうち陽性者が128人となっており、海陽町でもいつ陽性者が出てもおかしくない状況である。町内発生を想定し、引き続き住民の不安解消に向け備えていく。

「住み良い町の

実現」

消防Aーモデル事業の実施訓練を行い、消防団員からLINEで送られた災害情報を、パソコンの地図上に集約し、速やかな対応につなげるシステムを実証していく。現代の情報通信技術を駆使することで、より安全・安心な海陽町を目指す。宍喰久保地区から要望があった**松本排水機場**の能力増強と施設の更新に

ついて、南部総合県民局へ地元議員らとともに要望活動を行った。今後も必要に応じて随時要望活動を行ってまいる。

宍喰地区地域防災公園

事業は、今年度より工事用道路の整備に着手する予定で、今後も国、県と協力しながら「命の道の開通」に向けて邁進していく。

感染すると重症化しやすいと言われ、外出を控えている**高齢者へのコロナ対策**として、5月より進めてきた買い物サポーター事業や青空サロン事業を今後も継続して行っていく。さらに、外出応援チケットの使用上限の撤廃と金額の拡充など、高齢者がコロナで家にこもりつきりにならないような施策も進めていく。

海南病院改革検討委員会

会は、第5回の会議を行

い、方向性も決定間近で、決定後、県の地域医療構想調整会議で承認をいただく。7月からは神野地区での出張診療も開始し、web面会やオンライン診療も行う予定で、新たなチャレンジをさらに続けていく。

「にぎわうまちの

実現」

6月より販売した海陽町元氣**プレミアム商品券**及び飲食券は、8月24日現在で購入者4755人、売上2億3351万円と、コロナ禍で売り上げが落ちていた町内業者の応援を町民みんなで行い、消費喚起につながっている。こういう時こそ町民全体で助け合い、新たな町内店舗の良さも発見できるように、進めていきたい。

来年3月から**マイナンバーカード**が健康保険証として利用できる。国や県のマイナポイントに加え、町内で使える2000ポイントを独自で付与し、消費喚起につなげていく。

イベントの中止が相次ぐ中、新たなイベントとして3密を防ぎ、車中で映画鑑賞ができる、**ドライブインシアター**の実施を海南文化村で予定している。

第6回のD

MV導入協議会が開催され、ダイヤ案と運賃案が示された。今まで遍路に頼っていたこの地域の観光に、「世界初」を合言葉にしたD**MV**が新たな起爆剤の台頭となるよう期待を込めて、周辺環境の整備をしつかりと進めていく。

ランネット全国1位の第13回**海部川風流マラソン**は、コロナ禍ならではの手法としてオンラインでの開催が決定した。コロナで後ろ向きな話題が続く中、新たな形でのチャレンジとして海陽町のア

イベントの中止が相次ぐ中、新たなイベントとして3密を防ぎ、車中で映画鑑賞ができる、**ドライブインシアター**の実施を海南文化村で予定している。



地域子育て支援センター「あのね」1周年記念

「はぐくむまちの

実現」

来年度から民間業者での**給食業務**をスタートする。民間でできることは、なるべく民間でという町の行財政改革の一環であるが、質を落とさず今まで通りの給食が出せるように、また小回りの利く民間の知恵も借りながら、より質を高めてい

けるように進めていく。コロナで学校が休業になっても、子どもたちの学びを止めないように、早急に、**オンライン授業**の試行を行っていく。今後は、町内の小中学校の授業にもオンラインを活用する。併せて、家庭にWi-Fi環境の無い児童生徒のために、公共施設のWi-Fi整備についても取り組んでいく。

議案審議

決算認定について

Q1 収入未済額について



長岡議員

各担当課の
取組を報告し
てほしい。

(各担当課長が取組状況を説明)

阿部副町長

未収金対策は大きな課題である。昨年来、庁内調整会議を開き、法的対応や技術的問題の勉強をし、全庁を挙げて強化している。また、口座振替の推進、コンビニ収納も導入予定であり、対策強化に取り組んでいく。

一般会計補正予算(第4号)

Q2 観光看板設置工事費

〔400万円〕



小山議員

どこに設置するのか。文化村はDMV発着となっているが設置するのか。

戎谷商工観光課長

海南駅前と道の駅穴喰に設置する。文化村は、駐車場等の整備事業に看板設置も含まれている。

Q3 おうちでサロン事業補助金

〔50万円〕



高畠議員

具体的にどういう事業で何件くらいの想定なのか。

長江地域包括ケア推進課長

今、高齢者がなかなか外へ出られない状況から、家で脳トレや簡単な体操をしていただき、脳トレの回答に対し記念品を贈る事業である。社協に委託しており、高齢者の皆さんを対象にしている。

Q4 ドライブインシアター

業務委託料〔90万円〕



佐川議員

時期的にはいつ頃を予定しているのか。エンジンを掛けっぱなしにすると環境問題の不安がある。車の大きさなども考えているのか。

森崎教育次長

日程は、業者と相談となるが、PR期間も考え10月末から11月上旬ぐらいを予定している。エンジンについては、ハイブリッド車や電気自動車等々も含め、アイドリングストップ機能がかなり普及し問題はないと考えている。車の大きさについては、できるだけ見やすいよう調整を考えている。

Q5 公園原材料費

〔200万円〕



叶岡議員

グラウンドの砂とあるが、どこに入れ、どういうふうな砂を入れるのか。

戎谷商工観光課長

野球場および芝生広場の芝生の目土。芝生の育成のため、芝生用の砂を入れる。

海部小学校の 避難所整備を



富田 寛 議員

〈危機管理課長〉
整備の検討をする

問 海部小学校舎東側の城山広場に備蓄倉庫を設置できないか。また廃屋が今にも崩壊しそうな状態になっています。そこで廃屋を取り壊して土地を整備し有効利用できないか。



避難所広場の状況（正面やぶの中に廃屋）

答 奥原危機管理課長
学校や周辺住民の方と協議の場を持ち、設置に向け検討していきたい。

ブロック塀事業の 拡充をできないか

〈副町長〉
他自治体の事例を調査する

問 現在、道路に面したブロック塀が何軒あるのか。撤去費用補助だけではなく、植栽工事や控え壁を設置する工事にも制度を拡充してはどうか。

答 黒木建設課長
県の調査により、町内で2269件が対象となっている。

答 阿部副町長
補助金の運用の状況、補助率、補助金額、上限等、実際の運用状況を調査してまいりたい。

ひとり親世帯の支援 が必要と思うが

〈福祉人権課長〉
広域での支援体制がある

問 自治体や学校、支援団体が連携してヤングケアラーを支える体制作りを構築してはどうか。また条例等も整備してひとり親世帯が安心して日常生活を送れるサポート体制が必要と考察されるがどうか。

答 大崎福祉人権課長
ひとり親世帯の親が病气等になった場合、母子寡婦福祉連合会の保育や家事手伝い事業やファミリーサポートセンター、さらにはヘルパー

派遣やショートステイに預ける方法がある。またコロナ禍の経済支援として、ひとり親世帯臨時特別給付金があり、児童手当の上乗せ給付もある。町単位での対応は、施設、人的に確保が難しい面もあり、広域で取り組んでまいりたい。

新設企業の 支援体制を

〈町長〉 支援は
充分行っている

問 本年度、城山サテライトオフィスから2社が希望して移転をしたのか。4月から8月末までの施設利用回数は。約5カ月の期間があったが、な

ぜ議会に報告がないのか。今後、新設企業を育てていく体制を整えていくべきと考えるが。

答 戒谷商工観光課長
当施設の使用契約の解約の申し出があった。利用回数は4回。当施設は、入退去を前提としており、移転先は企業が選定し、事務所として適切な環境と判断したと承知している。議会には今後まとめて報告する。

答 三浦町長
当施設は、開設当初から年間3万円の使用料で、建物や機器リース料、さらには水道光熱費から清掃費まで利用でき、サテライト企業に非常にやさしい施設となっている。移住定住に関し、今後も国・県の助成を活用しながら進めていくが、それ以上に、コロナ禍でも頑張ろうという地元企業のや一次産業などへの後押しに力を注いでまいりたい。



佐川 富美 議員

巡回診療の充実を

〈海南病院事務長〉

ニーズを把握し院内の体制から検討

また、コロナ禍の中で、病院に行くのは抵抗があるという人もいます。こういう時代だからこそ受け身ではなく、出張診療をとり入れるべきではないかと思うのがいいか。

【答】 谷岡海南病院事務長

平成29年に川上地区で実施した生涯活躍のまちづくり事業の中で、住民の方から神野地区での出張診療を望む声があった。公立病院として、地域に出向き、健康維持・疾患の早期発見をとの思いうから、毎月第3火曜日に川上集会所で、今年7月から実施している。神野地区以外の無医地区や山間部等での新たな開設に向けては、ニーズを把握するとともに院内の体制づくりを始め、検討を進めてまいりたい。

病院改革の計画は

〈海南病院事務長〉

改革検討委員会で検討している

【問】 入院が3カ月になると、転院を余儀なくされる。患者や家族も安心できるよう、住民が希望している看取り病床を、病院改革の中で取り組んでいただきたい。

【答】 谷岡海南病院事務長

今後の経営方針や改革案については、9月15日に開催の第5回海南病院改革検討委員会で提案し、協議する予定である。その内容は、議会にも報告する。

また、看取り病床については、住民のニーズも

町道の管理はどうしているのか

〈建設課長〉 安全な通行を確保していく

【問】 町道のつぎはぎや亀裂、穴が開いた箇所が多く見られる。維持管理については、どのように考えているのか。また定期的な修繕計画はあるのか。

【答】 黒木建設課長

町道延長は、約270キロメートルで、全ての道路状況を把握することは困難な状況にある。しかし、老朽化が進む町道を良好な状態に保つため、適正な維持管理が必

要である。そこで老朽化が進み特に危険が及ぶ可能性があるもの、既に通行規制等を実施している箇所については優先して対策を行っている。さらに町民、議員等から情報提供をいただくとともに、道路パトロールを行い、修繕が必要な箇所の早期発見、修繕等を実施している。橋梁等については、長寿命化修繕計画を策定済みである。



町道の舗装修繕工事

高く、また病院改革の大きな柱の1つであり、検討委員会でも議論を重ねている。入院期間については一定の基準はあるものの、終末期患者に対しての看取り入院は、現在もできるだけの対応をしている。来年度の4月に地域連携室を設置し、入院の支援やベッドコントロール等により病床の確保に努めるとともに、住民の思いにこたえ、また地域に愛される病院となるよう改革に取り組んでいきたい。



原 ひろみ 議員

インフルエンザ予防接種の 公費助成の拡大を

〈三浦町長〉 65歳以上は無料にしたい

問 コロナとインフルエンザが同時流行をすれば、その早期判定が必要。両方の検査が簡易に迅速に同時にできるのか。

コロナでなければかかりつけ医でインフルエンザの治療はできるのか。

答 大崎福祉人権課長

両検査とも飛沫を浴びて感染するリスクが高く、現在は検査を控えている。今後、県が主体となり、発熱患者が地域で身近な医療機関に相談、受診、必要に応じ検査を受けられる体制が整えられ、町も協力していく。コロナの検査が陰性であれば、かかりつけ医でインフルエンザの治療をすることは可能。

問 今年冬にまずインフルエンザにかからないよう、全町民が予防接種をするべき。昨年まで高齢者10000円負担が今年

は16000円に増加するようだが、無料にはできないのか。また、他の年代への負担はどうなのか。特に、妊婦や受験生は感染対策が必要。少しでも安価であれば多くの町民が予防接種を受けられると思うがどうか。

答 三浦町長

65歳以上の方は、昨年度まで海部郡3町で予防接種の自己負担を10000円としていたが、今年度から県医師会との広域化契約で、自己負担額も16000円に統一された。しかし、コロナ禍の中で高齢者の予防接種を推進するため、今年度は予防接種費用を全額助成をしたいと思う。

答 大崎福祉人権課長

町では妊婦や生後6カ月から高校3年生までの方は、1回につき2250円を上限に助成している。さらに住民税非課税世帯や生活保護世帯の方は、無料で受けられるよう助成を行っている。



インフルエンザ予防注射（海南病院）

4月28日以降の新生児も給付対象に追加せよ

〈福祉人権課長〉 町独自の支援策を充実

問 1日違いで給付対象にならない対応に不満の声が多くある。少子化の進む我が町で今年度の出産予定数はどのくらいか。コロナ禍の不安を抱えながら不況やストレス等大変な中出産した家族を支援する事は大事。将来を担う子どもの健やかな成長を支援するため給付対象にすべき。

答 大崎福祉人権課長

今年度の出生数の見込みは29人。国の特別定額給付金は、令和2年4月27日時点で住民登録のある方が対象となっている。仮に延長するとしても、どこかで線引きする以上、不公平感は避けられない。

本町では、子どもあゆみ基金により独自の子育て支援に取り組んでいる。今年の7月には、かいよう子育て応援室「あすも」開設や、妊婦に助産院の受診クーポンを発行し、産前ケアや助産師相談の充実を図っている。



福岡 イソエさん

相川字岡本

満97歳
(大正11.11.19生)

・元気の秘訣は？

好き嫌がなく3食よく食べる。

目も耳も良い。

・日常生活は？

日当たりの良い縁側で、
毎日外を眺めている。

お墓参りに毎日行く。

・人生の思い出は？

若い頃、婦人会で踊りや
歌を楽しんだこと。



自宅の庭にて 令和2年10月1日



ミズトラノオ (吉野) …… 本田晴茂 氏 提供

編集後記

極暑の夏も終わり、過ごしやすい季節がやってきました。しかしコロナ感染は未だ収束する見通しもつかず、これからの季節、インフルエンザの流行も心配されます。ウイズコロナ「新しい生活様式」を、住民一人ひとりが取り入れていく必要があります。

今後も住民の皆様のご意見も伺いながら、読むのが楽しみと心待ちにさせていただける広報議会だよりをお届けしていきます。

(佐川)